



JOB INFORMATION

正社員募集

「おっちゃんとおばちゃん」の求人広告を見ての応募です」とお伝えください。

2020年3月
大学卒業見込

第2新卒以上
歓迎

文理不問

専門学校
卒業生歓迎

◎精密加工エンジニア【内容】・CAD/CAMでの設計・NC(コンピュータ搭載)工作機械のプログラミング、段取り作業および各種金属材料の精密加工・加工品の手仕上げ、品質検査・難形状・難素材加工へのチャレンジ

◎営業設計【内容】・技術営業(BtoB)・社内治具設計、製造図面作成(①エンジニア社員の家を形にする②技術営業に必要な知識・経験を培う)・顧客依頼の治具および金型の設計、製造図面作成・顧客の課題を共有し、解決策を提案

◎総務事務【内容】データ入力、書類作成、採用、広報、経理等の補助業務と社長アシスタント業務

【応募資格】2020年3月高等専門学校・短大・大学・大学院卒業見込みの方(全学部全学科、文理関係なし)

【給与】新卒：大学卒198,000円。中途：年齢・経験・職歴をもとに当社規定により応相談。通勤、家族、役職、技術、原谷エリア移住者への補助金、慶弔、社員表彰など手当あり

【勤務地】本社

【勤務時間】8:00 ~ 17:05(休憩65分含む)

【休日】週休2日制(土・日/月)に1回土曜または祝日全体会議を兼ね出勤、年間116日

【その他待遇】各種社会保険完備、財形貯蓄、退職金制度、定期健康診断、マイカー/バイク通勤可(無料駐車場完備)、昼食補助など

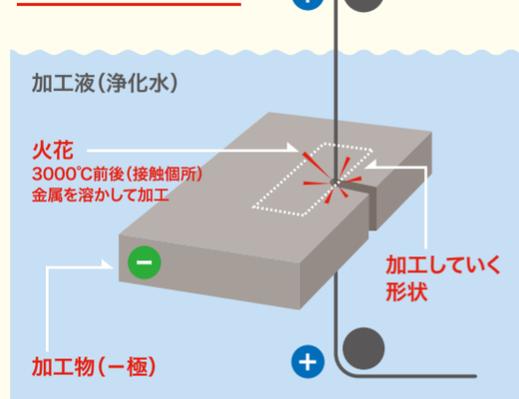
【歓迎】モノづくりが本当に大好き・本気で挑戦したい若手の未経験者の方は、理系・文系問わず歓迎。ゼロから教えるに教えます。

【連絡先】まずは一度お電話ください。

TEL:075-461-7333(総務・鳴戸)

放電現象で生じる

火花の熱で加工する



形彫り放電加工やワイヤカット放電加工とは、工具を使わずに電気の火花で、高硬度金属を溶かし、非常に複雑な形状の加工ができる技術。材質の硬さや厚みに関わらず微細な加工ができ、特に「ワイヤカット放電加工」は、厚さ0.01mm以下の金属加工も可能。

理論的にも構造的にも、とても複雑で難しい加工法のため、初めは取っ付きにくいところがあるが、習熟していく内に無限の可能性を秘めた、奥深い技術であることがわかる。他の技術ではできないことを可能にしてしまう、極めてユニークな技術。大東技研は、放電加工の工学博士が設立した会社で、約40年の歴史があるのが強み。

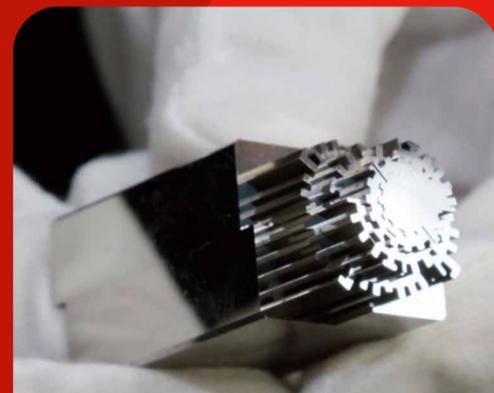
ワイヤ
放電加工
とは

浄化水の中で
火花を起こし
金属を加工する技術

ンのワイヤを使い、電流や電圧などの条件を調整して金属を加工していく。製作する部品は1〜2個という小ロット生産。オーダーメイドでのモノづくりだ。

「放電加工は、世界でも歴史の浅い技術です。そのなかで、当社は先駆者であり、今もなお第一線を走っていると自負しています」と、放電加工のチーフリーダー・堀口一也さんは胸を張る。

ワールドワイドに展開する企業が「一緒にモノづくりを」と、大東技研を指名する理由は、高い技術力、スピーディな仕事、充実した設備、そして人のチカラだ。堀口さんは「大東技研の強みは、チームの団結力」と断言する。取引先からもらった紙の設計図を元に、CADで作図し、実際の加工に移る。加工の手順や方法に正解はない。だからこそ、チームみんなの知識や経験が活きるというわけだ。



器用な人。目に見えない電気を取り扱う上、言葉が発しない機械と向き合う必要があるからだ。プロフェッショナルとして活躍している社員には文系出身者も多い。あきらめずにコツコツと取り組める人なら、知識はゼロでも構わない。「ほかではなかなかできない、高精度なモノを作ってみたい」という人におすすめの仕事だ。



堀口一也さん

年齢や経験に関係なく活発に意見が飛び交う、風通しの良い社風。「ベストなモノづくりには、みんなのアイデアや経験が必要」という考えが社員みんなに根付いている。

世界で通用する技術は

みんなまで考える

社風から

生まれる

モノづくり業界における「メーカー」は、最終完成品を作る会社だけではない。たとえばパソコン。①部品を組み立てるパソコンメーカーのほか、②パソコンに使われる部品を作るメーカー、③部品を作るための機械を作るメーカー、④その機械の部品を作るメーカーも存在する。

このなかで、大東技研は④にあたる、精密金属部品のメーカーだ。主に半導体を作る機械の心臓部に使用される部品を製作しており、いわばモノづくり業界の根幹を支える存在なのだ。

大東技研には、高精度マシニング、高精度研磨機、高精度検査機器などを有するチームがある。そのなかで、1975年の創業の原点となったのが「放電加工」チームだ。

電加工」チームだ。

工場長であり放電加工チームのリーダーでもある堀口一也さん。文系出身の42歳。「チーム全員できっちり下準備をし、機械のコンディションを日々整えてこそ、思い通りの製品を仕上げる事ができるんです」。

